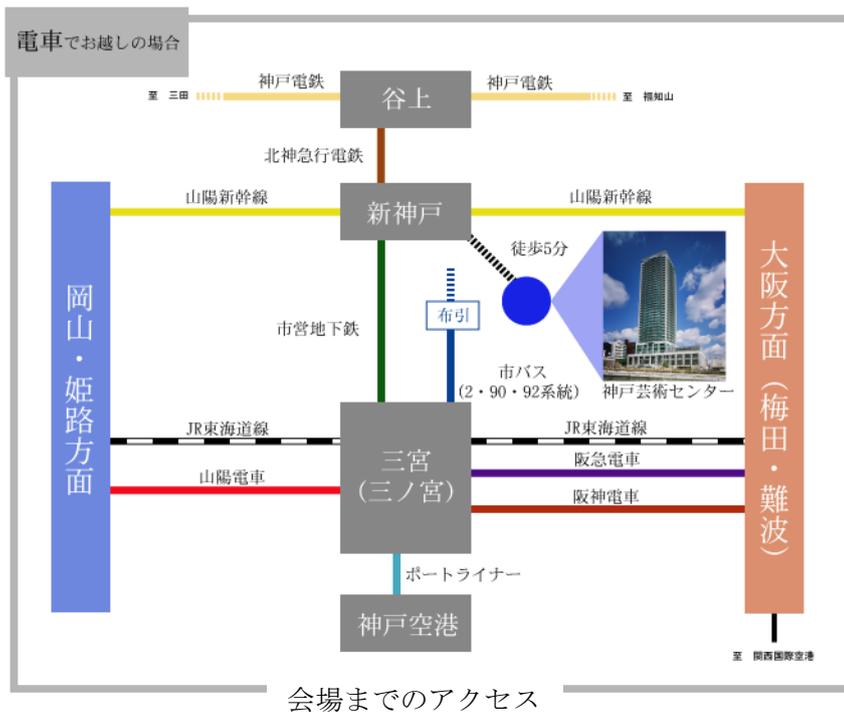


全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 2019
開催概要 (案)

- 1 開催日時 2019年7月13日(土)～14日(日)
- 2 開催場所 神戸芸術センター 芸術劇場
(〒651-0055 兵庫県神戸市中央区熊内橋通 7-1-13)
山陽新幹線「新神戸」駅、神戸市営地下鉄「新神戸」駅から徒歩5分
- 3 大会長 大串 幹 (兵庫県地域リハビリテーション支援センター長)
- 4 名誉大会長 澤村 誠志 (兵庫県社会福祉事業団 顧問)
- 5 大会テーマ 「リハビリテーションの未来 ～時代の潮流と地域の流儀～」
- 6 主催 全国地域リハビリテーション研究会 平成31年度研修大会
全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 第13回全国研修会
- 7 共催 兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター
兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会
- 8 後援 (未定)
- 9 大会運営 全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 2019 実行委員会



大会趣意書

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

全国地域リハビリテーション合同研修大会は、全国地域リハビリテーション研究会及び全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会が主催する大会で、毎年全国各地において、地域リハビリテーションのさらなる推進を目的に開催されてきました。今年度は、兵庫県にて7月13日（土）・14日（日）の2日間、開催することになりました。

現在、我が国が直面している少子超高齢社会の到来に向けて、全国各地で地域包括ケアシステムの構築に向けた様々な取り組みが進められていますが、この地域包括ケアシステムを考える上で重要なことは、年々刻々と変化する社会情勢と来る将来を見据えた医療・介護の制度改正の大きな波をしっかりと捉えつつも、一方でその地域で昔から受け継がれてきた風土、生活様式、人間関係、社会資源にも目を向けて、その地域の流儀に沿った地域づくりが求められています。

また、地域リハビリテーションの分野でも全国各地で支援体制の整備が進められた時代からリハビリテーションを提供する環境も大きく変化し、多分野への広がりや多様な専門職種、地域での資源も変わり行く中で、地域リハビリテーション支援体制に求められるものも直接的なリハビリテーション技術の提供から地域のリハビリテーション資源の賦活・活用、コーディネートの役割へと変化を求められています。

これらのことを踏まえ、今回の合同研修大会では、大会テーマを「リハビリテーションの未来 ～時代の潮流と地域の流儀～」とし、誰もが住みなれた地域でいきいきとその人らしい暮らしができるように、これからの地域リハビリテーションの目指すところについて共に学び考え、リハビリテーションの視点から地域包括ケアをどのように支えていくかについて情報共有やディスカッションを通して様々な視点で一緒に考える機会としたいと考えています。

本大会を実り多いものにするためには、行政機関ならびに関係団体の皆様方のご支援が不可欠でございます。本大会の趣旨をご理解いただき、ご助力をお願いいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

謹白

2019年2月吉日

全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 2019

大会長 大串 幹

大会プログラム 案

1 日目 (7/13 土曜日)

12 : 00~13 : 00	全国地域リハビリテーション研究会 世話人会
13 : 00~14 : 00	全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 理事会
14 : 00~14 : 10	<開会式> 挨拶：大会長 大串 幹 (兵庫県地域リハビリテーション支援センター長)
14 : 10~15 : 10	<名誉大会長講演> テーマ：「地域リハビリテーションの未来に向けて」 講師：澤村 誠志 (兵庫県社会福祉事業団 顧問) 座長：岩井 信彦 (一般社団法人兵庫県理学療法士会 会長)
	休憩
15 : 15~16 : 45	<シンポジウム1> テーマ：「誰もが安心して安全に暮せる地域づくり」 主旨：子どもから障害者、高齢者を含めた地域共生社会を目指した取り組みを県内で先駆的に取り組んでいる方を講師として招き、今後、地域リハとしてこれらの方々とどのように交わっていくか、何をすべきかについて考える シンポジスト (候補) ①安福 ひとみ (NPO 法人ひやしんす 施設長 作業療法士) ②渡部 政弘 (地域密着多機能ホーム さくらホームおおの家 まちづくり渉外担当管理者 理学療法士) ③中村 祐介 (株式会社 あらたか 代表取締役社長 理学療法士) 座長：篠山 潤一 (兵庫県地域リハビリテーション支援センター)
	休憩
16 : 50~18 : 20	<シンポジウム2> テーマ：「地域の流儀に応じた地域づくり」 主旨：日本の縮図といわれる兵庫県の中で、都市部と人口過疎地域とでそれぞれ地域支援事業の取り組みの違いや課題について発表いただき、それぞれの地域の流儀とそれに合わせたあるべき姿について考える機会とする。 シンポジスト：①西宮市 都市部での専門職の活用 ②たつの市 共生社会にむけた専門職の活用 座長：柳 尚夫 (全国地域リハビリテーション研究会 会長)
19 : 15~	懇親会 会場：百済 (神戸市役所 1 号館 24 階)

2 日目 (7/14 日曜日)

9 : 30~10 : 10 (フロア) ポスター展示	<実践報告・意見交換> 【前半】 テーマ : 「来て・見て・話して解りあう 地域リハビリテーション」 兵庫県内、全県リハ、圏域リハ、市町連絡会の地域リハビリテーション活動支援事業の取り組みやそれを支援する体制についてのポスター発表
10 : 15~10 : 55	<大会長講演> テーマ : 「私の地域リハビリテーション」 講 師 : 大串 幹 (兵庫県地域リハビリテーション支援センター長) 座 長 : 田中 義之 (一般社団法人兵庫県言語聴覚士会 会長)
	休憩
11 : 00~12 : 00	<招待講演 1 > テーマ : 「千葉県松戸市における認知症の取り組み」 (仮) 主 旨 : 松戸市で行われている認知症への取り組みから多職種連携による医療介護の連携の形を考える 講 師 : 旭 俊臣 (医療法人社団弥生会旭神経内科リハビリテーション病院 院長) 座 長 : 長尾 徹 (一般社団法人兵庫県作業療法士会 会長)
12 : 00~13 : 00	<実践報告・意見交換> 【後半】 テーマ : 「来て・見て・話して解りあう 地域リハビリテーション」 全国地域リハビリテーション研究会 総会 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 総会
13 : 00~14 : 30	<シンポジウム 3 > テーマ : 『地域におけるリハビリテーションの活用促進を目指した調査研究事業』 主 旨 : 病院施設協会で行ったアンケート結果を基に、現在の全国の地域リハ支援体制についての現状を報告いただき、都道府県地域リハ支援センターの立場から現状と課題、今後の方向性などについて話し合う 報告者・座長 : 松坂 誠應 (全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会会長) 座長 : 大串 幹 (兵庫県地域リハビリテーション支援センターセンター長) シンポジスト (候補) : ①千葉県地域リハビリテーション支援センター 田中 康之 ②広島県地域リハビリテーション支援センター 三宅 貴志 ③兵庫県地域リハビリテーション支援センター 篠山 潤一
	休憩
14 : 45~15 : 45	<招待講演 2 > テーマ : 「主体性を考える ~受け手から支え手へ~」 主 旨 : 世田谷区を中心に地域共生社会に向けた地域リハビリテーションの実践的な取り組みをお話いただく。 講師 : 長谷川 幹 (三軒茶屋リハビリテーションクリニック 院長) 座長 : 大串 幹 (兵庫県地域リハビリテーション支援センター長)
15 : 45~16 : 00	<閉会式> 2020 年度全国地域リハビリテーション合同研修会開催地あいさつ あいさつ : 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 松坂会長 全国地域リハビリテーション研究会 柳会長